



はだか麦の魅力を未来へつなぐ

南海放送「はだか麦」取材

南海放送「愛媛の旬をとどけよう！～新鮮・安心を未来へつなぐ～はだか麦編」の取材班が、本町を訪れました。

取材では、料理研究家の中村和憲さんと丹下真奈アナウンサーが、徳丸生産組合の八束光男代表へのインタビューなどで、はだか麦の魅力を再発見。さらに、徳丸集会所で、はだか麦入りハンバーグやスムージーなどを調理・試食し、はだか麦の新たな可能性を見出していました。

④子どもも食べやすい新メニュー

⑤はだか麦の入ったご飯や麦茶を堪能



Check!



④大きな塗り絵に一生懸命手を伸ばす
⑤田中町長がシュートを指導。「よ〜く狙って」
⑥クイズを取り入れた防災講座



私たちのまちをきれいに

第 54 回郷土を美しくする清掃

「郷土を美しくする清掃」は 6 月 1 日、塩屋海岸、北黒田・新立海岸、松前港内港をはじめ町内各所で行われ、子どもから大人まで約 2,500 人が参加しました。

この清掃は、昭和 45 年から行われているもので、今年で 54 回目となります。みんなで協力して約 3 トンの可燃ごみと約 300 キロの不燃ごみを集めました。

清掃後は、参加した皆さんのすがすがしい笑顔が輝いていました。

④きれいになると気持ちいいね

⑤約 250 人が参加した塩屋海岸



子どもたちに遊び場を

第 4 回恵久美子ども遊びランド

「第 4 回恵久美子ども遊びランド」が 6 月 16 日、恵久美総合運動公園で開催され、親子連れなど約 70 人が参加しました。

サッカー、バスケットボールのほか、塗り絵やシャボン玉など多くの体験が用意され、子どもも大人も体を動かし、汗を流して楽しみました。

今回初めて行われた防災講座では、防災士の小林祐介さんが、「普段からいろいろな状況を想定して、災害が起こったときどのような対応をするのか考えておこう」と子どもたちに訴えました。また、トランペットとピアノの演奏会では、知っている曲が流れると子どもたちも一緒に歌って大盛り上がりでした。

岡田小学校 2 年生の田中桃杏色さんは「三輪車に乗れて楽しかった。また来たい」とにっこり。主催の恵久美を元気にする会の山本正司代表は、「今後も子どもが楽しめるイベントを行いたい」と話していました。



相撲の魅力を感じて

横綱 11 人の手形を寄贈

大相撲の元十両・伊予楼で北黒田出身の市来政行さんは 6 月 4 日、町へ北勝海(日本相撲協会の八角理事長)や照ノ富士ら横綱 11 人の手形を寄贈しました。

市来さんは、松前中学校を卒業後、高砂部屋に入門。昭和 63 年春場所まで引退しましたが、現在は、若手の指導などに尽力しています。市来さんは、「まちの皆さんに相撲の魅力を感じてほしい」とほほ笑んでいました。

この手形は、12 月まで庁舎ロビーで展示する予定です。



渡部雅人さんに瑞宝小綬章

令和 6 年春の叙勲

★瑞宝小綬章【地方自治功労】
わたなべ・まさと
渡部 雅人さん
元県研修所長
71 歳 昌農内

政府は 4 月 29 日付で「令和 6 年春の叙勲」を発表し、本町からは元県研修所長の渡部雅人さん＝昌農内＝が受章しました。

渡部さんは、昭和 52 年 4 月に愛媛県庁に採用され、福祉、用地補償、企画、財政担当部署などを経て、県研修所長に配属。より良い行政サービスを提供するため、県および市町職員の人材育成に尽力しました。

渡部さんは受章に対し、「身に余る栄光。いつも周囲の人たちが支えてくださった賜です」と話していました。



色鮮やかな花で笑顔に

伊予農高生が花壇を植え替え

伊予農業高等学校園芸流通科の 3 年生 10 人は 6 月 7 日、授業の一環で役場玄関前の花壇の植え替えを行いました。

今回植ええられたのは、300 株のポチュラカ。参加した山本愛子さん＝筒井＝は、「ポチュラカは、いろいろな色があってきれい、育てやすい花。花壇を見て、花に興味をもってもらえたら」とほほ笑んでいました。



熱戦を展開

松前町春季ソフトテニス大会

「松前町春季ソフトテニス大会(小・中学生の部)」は 5 月 3 日、松前中学校で行われました。結果は次の通り(敬称略)。

優勝		準優勝		3 位		
篠崎 南	美空 真央	井ノ口莉瑚 弓達	横田 未結	糸唯 古野	北川 璃奈	愛桜 喜安 彩七



大きくなって帰っておいで

アユの稚魚を放流

重信川漁業協同組合（平岡道典代表理事組合長）は5月22日、重信川流域にアユの稚魚を放流しました。

稚魚の放流は、子どもたちに生き物の大切さを感じてもらうとともに、自然環境の保護育成を図るため同組合が実施しているものです。出合橋の河川敷では、岡田保育園の園児26人がお手伝い。園児は川の中に入って、「大きなあれ」と声を掛けながら、バケツに入れたアユを放流して、自然との触れ合いを楽しんでいました。



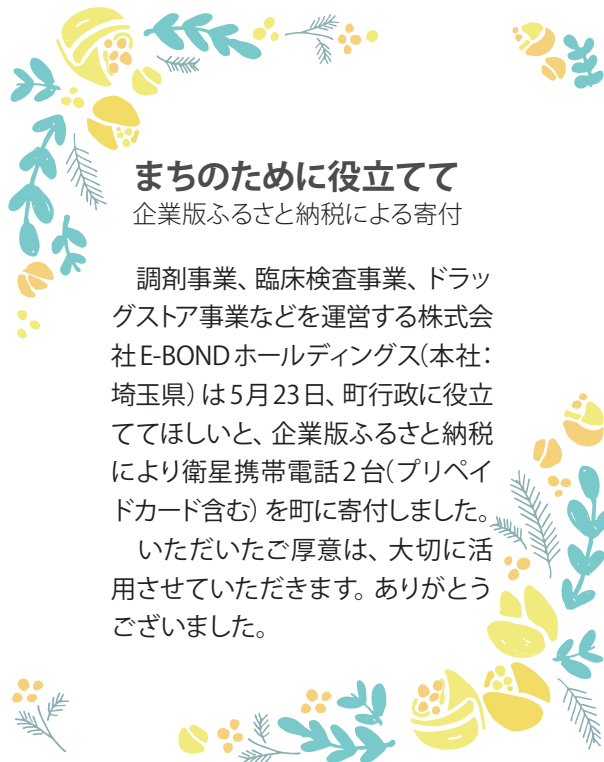
お米を育てる大変さを学ぶ

岡田小学校で田植え体験

岡田小学校の5年生は6月13日、水口稔章さん指導の下、学校近くの水田で田植えを行いました。

この田植えは、「総合的な学習の時間」の授業として行われたもの。福住郁也さんは、「田植えは初めてだったけど、楽しくてやりがいがあった。これからみんなで協力して水の管理をしたい」とほほ笑んでいました。

今後は、児童たちが毎朝交代で水の管理をしながら稲の生育を観察し、秋の収穫を目指します。



まちのために役立てて

企業版ふるさと納税による寄付

調剤事業、臨床検査事業、ドラッグストア事業などを運営する株式会社E-BONDホールディングス(本社：埼玉県)は5月23日、町行政に役立ててほしいと、企業版ふるさと納税により衛星携帯電話2台(プリペイドカード含む)を町に寄付しました。

いただいたご厚意は、大切に活用させていただきます。ありがとうございました。



愛媛 FC 選手とサッカーで交流

愛媛 FC 選手学校訪問

愛媛FCの前野貴徳選手と牧口一真選手は5月22日、松前小学校を訪問し、同校の6年生とサッカーで交流しました。

サッカーボールを使った鬼ごっこでウォーミングアップした後は、前野選手、牧口選手などの大人チームと6年生チームで試合を実施。プロサッカー選手の迫力を間近に感じながら、児童は夢中でボールを追い掛けていました。

